

# さいたま市の 市政と財政状況



さいたま市



ツール・ド・フランス  
さいたまクリテリウム



令和元年10月  
財政局財政部財政課



# 目次



## 第1章 さいたま市の持つチカラ

- さいたま市のプロフィール・・・・・・・・・・ 1
- 特色①「住みやすい」まち・・・・・・・・・・ 2
- 「住みたい」まちさいたま市・・・・・・・・・・ 3
- 「子育て世代」から選ばれるまち・・・・・・・・ 4
- 特色②発達した交通網・・・・・・・・・・ 5
- 戦略的な企業誘致活動・・・・・・・・・・ 6
- 特色③まちづくりへの積極投資・・・・・・・・ 7
- 特色④スポーツNo.1都市戦略・・・・・・・・・・ 9
- SDGs 未来都市に選定・・・・・・・・・・ 10
- 将来を見据えた持続可能な成長・発展・・・・ 11



## 第2章 さいたま市の財政

- 財政の現状～平成30年度決算・・・・・・・・ 12
- 市税収入の状況・・・・・・・・・・ 13
- 義務的経費の状況①・・・・・・・・・・ 14
- 義務的経費の状況②・・・・・・・・・・ 15
- 財政指標の状況・・・・・・・・・・ 16
- 財政指標の比較・・・・・・・・・・ 17
- 基金残高の推移・・・・・・・・・・ 18
- 「新たなさいたま市の創造」  
に向けた「充実予算」・・・・・・・・・・ 19
- 予算の構成比（一般会計）・・・・・・・・・・ 20

## 第3章 さいたま市の起債運営

- 市債発行実績・・・・・・・・・・ 21
- 市債残高の推移・・・・・・・・・・ 22
- プライマリーバランスと残高比較・・・・・・・・ 23
- 市場公募地方債・・・・・・・・・・ 24



# 第1章

---



# さいたま市の持つチカラ

# さいたま市のプロフィール



## “東日本の玄関口” さいたま市が持つ **4つ** の特色

### 特色① 「住みやすい」まち P.2

**8割**を超える市民が「住みやすい、住み続けたい」と評価！  
さいたま市の「**住みやすさ**」に高い評価！

### 特色② 発達した交通網 P.5

新幹線6路線をはじめ、鉄道、高速道路網が発達した  
**東日本の玄関口！**

### 特色③ まちづくりへの積極投資 P.7

**まちづくりへの積極的な投資**を継続実施！

### 特色④ スポーツNo.1都市戦略 P.9

**大型スポーツ興行施設**を活かした大型スポーツ  
大会・イベントの誘致・支援・開催！



出典：「さいたま市総合都市交通体系  
マスタープラン基本計画」（さいたま市）

# 特色①「住みやすい」まち



- ・ **8割** を超える市民が「住みやすい、住み続けたい」と評価！  
⇒ さいたま市の「住みやすさ」に高い評価が集まっています。



人口	<b>1,312,265人</b> (対前年同月比 +12,307人)
世帯数	<b>600,803世帯</b> (対前年同月比 +11,896世帯)
平均年齢	<b>44.18歳</b>

※令和元年10月1日現在

## ●市民のさいたま市に対するイメージ

順位	イメージ	割合(%)
<b>1位</b>	<b>買い物など生活に便利なまち</b>	<b>60.4</b>
2位	居住・生活環境のよいまち	51.9
2位	交通の利便性が高いまち	51.9
3位	関東の主要都市	37.2
4位	教育環境のよいまち	29.0
5位	災害に強く、治安のよいまち	28.9

出典：「令和元年度さいたま市民意識調査（中間報告書）」（さいたま市）

## ●さいたま市の住みやすさと定住意向の推移 **86.2%**



出典：「令和元年度さいたま市民意識調査（中間報告書）」（さいたま市）



# 「住みたい」まち さいたま市

- ・「住みたい街ランキング」で、**トップ10に2駅**がランクイン！
  - ・「幸福度ランキング」でも、指定都市中 **第2位**！
- ⇒ 外部評価でも、さいたま市の「**住みやすさ**」に高い評価！

## ● 住みたい街ランキング 2019 関東版

順位	駅名	順位	駅名
1位	横浜	6位	品川
2位	恵比寿	7位	目黒
3位	吉祥寺	<b>8位</b>	<b>浦和</b>
<b>4位</b>	<b>大宮</b>	9位	武蔵小杉
5位	新宿	10位	鎌倉

出典：「SUUMO住みたい街ランキング2019関東版」  
(株式会社リクルート住まいカンパニー)

## ● 幸福度ランキング

指定都市中 **第2位**



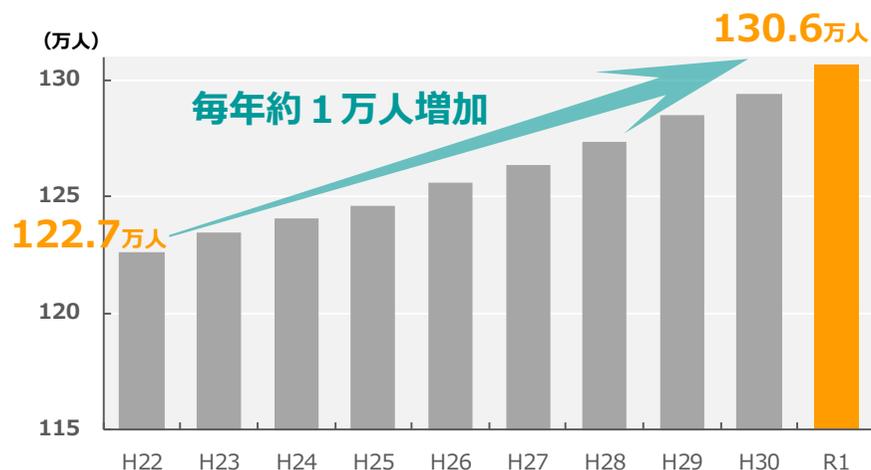
※全47指標の一部

出典：「全47都道府県幸福度ランキング2018年版」  
(東洋経済新報社)

# 「子育て世代」から選ばれるまち



## 増え続ける人口



※各年度4月1日現在

- ・人口は**毎年約 1 万人増加!**
- ・転入超過数は、**全国 3 位!**
- ・特に**0~14歳**の転入超過数は**全国 1 位!**

子育て世代から選ばれるまち

### ● 転入超過 (全年齢)

順位	市町村	転入超過数 (人)
1位	東京都特別区	60,909
2位	大阪市	12,081
<b>3位</b>	<b>さいたま市</b>	<b>9,345</b>
4位	川崎市	8,342
5位	札幌市	8,283

出典: 「住民基本台帳人口移動報告 (2018年結果)」 (総務省)

### ● 転入超過 (0~14歳)

順位	市町村	転入超過数 (人)
<b>1位</b>	<b>さいたま市</b>	<b>1,260</b>
2位	流山市	818
3位	柏市	692
4位	町田市	627
5位	印西市	621

出典: 「住民基本台帳人口移動報告 (2018年結果)」 (総務省)



## 特色② 発達した交通網

- ・ 東北・北陸圏、北海道を連結する **首都圏対流拠点!**
- ・ 新幹線6路線をはじめ、鉄道、高速道路網が発達した **東日本の玄関口!**

●大宮駅を起点に、東日本へのアクセスが便利に!

東日本 { 東北圏：仙台駅まで **66分** 北陸圏：金沢駅まで **124分**  
 北海道：新函館北斗駅まで **約218分**

都心 { 東京駅、新宿駅まで **約30分**  
 羽田空港まで **約61分** 成田空港まで **約74分**

●JR東日本1日平均乗車人員 ベスト10

順位	駅名	乗車人員 (万人)
1位	新宿	78.9
2位	池袋	56.7
3位	東京	46.7
}		
<b>8位</b>	<b>大宮</b>	<b>25.8</b>

出典：「JR東日本駅別乗車人員ベスト100」2018年度





# 戦略的な企業誘致活動

- ・「**まもり、まねいて、そだてます**」をテーマに、発達した交通網等本市の優位性を活かした企業誘致活動を実施している。

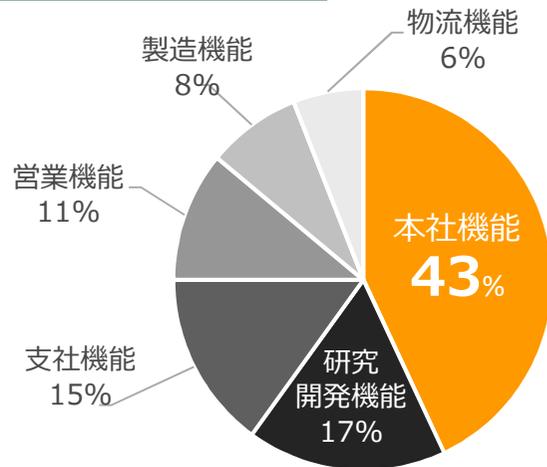
## 平成30年度 経済波及効果

- ・建設投資による効果 約**155**億円
- ・立地操業に伴う効果 約 **35**億円
- 合計 約**190**億円

## 誘致事例

- マレリ株式会社 (旧：カルソニックカンセイ株式会社)
- 株式会社オリジン
- 株式会社ロッテ
- 株式会社日本レストランエンタプライズ
- クラリオン株式会社
- 株式会社藤倉コンポジット株式会社
- 等

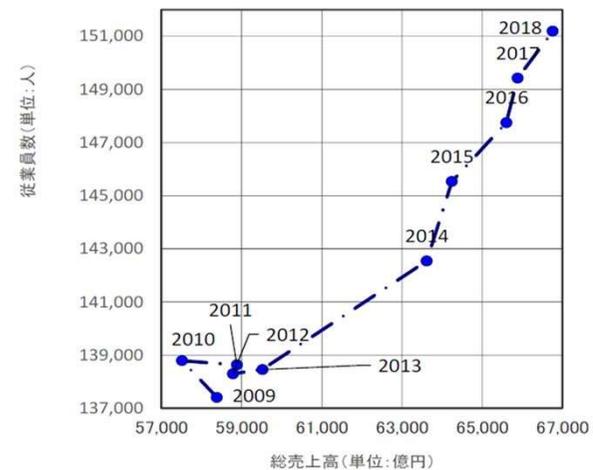
## 企業誘致実績 (機能別)



14年間(平成17~30年度)で、**171社**を誘致!

## 企業から長期的な成長を見据えて選ばれる都市

さいたま市10年間に在り企業 (n=6,009) の特徴  
売上高と従業員数の合計水準



出典：「さいたま市における本社転出入実態調査」(株)帝国データバンク (令和元年)

# 特色③ まちづくりへの積極投資



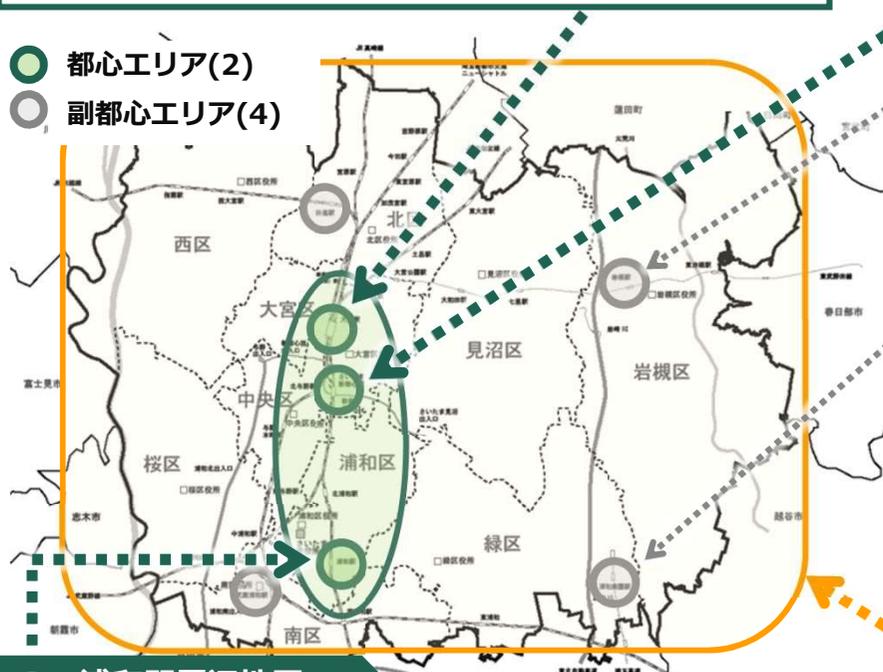
## 1. 大宮駅周辺地区

- ・ H29.8月 **都市再生緊急整備区域**に指定。
- ・ 大宮駅西口、東口で複数の「市街地再開発事業」が進行中。
  - ・ **大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業**
  - ・ **①大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業**
- ・ 東日本中枢都市として競争力強化を図るため、**大宮駅グランドセントラルステーション化構想**を推進。

## 2. さいたま新都心周辺地区

- ・ H15.7月 **都市再生緊急整備区域**に指定。
- ・ 広域行政機能、高次の業務・商業・文化機能などが集積。
- ・ 首都圏広域地方計画において、大宮駅周辺と併せ、**災害時の首都圏機能のバックアップ拠点**として期待されている。
- ・ R2.6月から**②さいたま新都心バスターミナル**が供用開始予定。

- 都心エリア(2)
- 副都心エリア(4)



## 4. 岩槻駅周辺地区

- ・ 「人形のまち」岩槻で、伝統ある人形文化の振興、歴史・文化の発信、併せて地域活性化の拠点として**④岩槻人形博物館及びにぎわい交流館いわつき**を整備。

## 5. 美園地区

- ・ 浦和美園駅周辺の**区画整理事業**を推進中。
- ・ 次世代自動車・スマートエネルギー特区(第2期)を活用し「**スマートホーム・コミュニティの普及**」を推進。
- ・ 流入人口の増加に伴い、小学校及び中学校を新設。**⑤美園北小学校、美園南中学校**

## 3. 浦和駅周辺地区

- ・ 浦和駅西口で「市街地再開発事業」が進行中。**③浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業**

## 市全域

- ・ 子育て世代の転入等に伴い、保育需要が高まり、待機児童が生じていることから、解消に向け**⑥保育所の増設**を積極的に推進。

# 特色③ まちづくりへの積極投資



## ①大宮駅東口大門町2丁目中地区 第一種市街地再開発事業

住みたい街ランキング4位「大宮」  
の賑わい創出に向けたリーディング  
プロジェクト



## ②さいたま新都心バスターミナル

東京2020大会に向け全国各地と  
市内をバスで繋ぐ発着拠点を整備



## ③浦和駅西口南高砂地区 第一種市街地再開発事業

文教都市「浦和」の賑わい創出や  
回遊性向上に向けた拠点を整備



## ④岩槻人形博物館 にぎわい交流館いわつき

人形のまち、岩槻  
人形文化の国内外への発信拠点



## ⑤美園北小学校、美園南中学校

まちづくりの進捗に伴う流入人口  
の増加に対応するため、新設



## ⑥保育所の増設

子育てするならさいたま市！  
新たに1,270人分を増設 (H30実績)



## 特色④ スポーツNo.1都市戦略

- ・市内に**大型スポーツ興行施設**があり、**大型スポーツ大会・イベントの誘致・支援・開催実績**を有する。
- ・本市の強みであるスポーツを活かし、**地域経済活性化**を図るとともに**国内外から注目されるスポーツ先進都市**を目指す。

### 主なスポーツ興行施設

- ・埼玉スタジアム2002 【サッカー：Jリーグ、日本代表戦等】  
⇒ **東京2020大会でサッカーの競技会場**として使用予定。
- ・さいたまスーパーアリーナ【フィギュアスケート、格闘技等】  
⇒ **東京2020大会でバスケットボールの競技会場**として使用予定。
- ・NACK5スタジアム大宮 【サッカー：Jリーグ、なでしこリーグ】
- ・サイデン化学アリーナ 【バスケットボール：B3リーグ等】
- ・浦和駒場スタジアム 【サッカー：なでしこリーグ】



### 開催実績

- ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム (📷写真)
- ・さいたま国際マラソン
- ・FIVB女子バレーボールワールドグランプリ
- ・全日本フィギュアスケート選手権大会 等

スポーツ大会・イベント開催に伴う経済波及効果

約**693**億円 (H23~H30年度)

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム来場者

約**60.3**万人 (H25~H30年度の延べ人数)

# SDGs 未来都市に選定



- ・内閣府から、令和元年度に **SDGs未来都市** に選定された。

※ SDGs未来都市とは、**経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市**のこと。

- ・2030年に向け、誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思えるさいたま市の実現に取り組んでいく。



「SDGs 未来都市」選定証授与式

## 2030年のあるべき姿

- ① 多彩な都市活動が展開される**東日本の交流拠点都市**
- ② 見沼の緑と荒川の水に象徴される**環境共生都市**
- ③ 若い力の育つゆとりある**生活文化都市**

## 特に注力する先導的取組

「**経済**」：交流人口の拡大と情報発信拠点の整備

⇒東日本連携センターの創設、大宮駅グランドセントラルステーション化構想

「**環境**」：脱炭素化とスマートシティの推進

⇒次世代自動車・スマートエネルギー特区 等

「**社会**」：少子高齢化・人口減少時代における誰もが住んでいることを誇りに思えるまちづくり

⇒CS90運動(本市が住みやすいと感じる市民の割合を90%以上とすることを目指すもの)

# 将来を見据えた持続可能な成長・発展



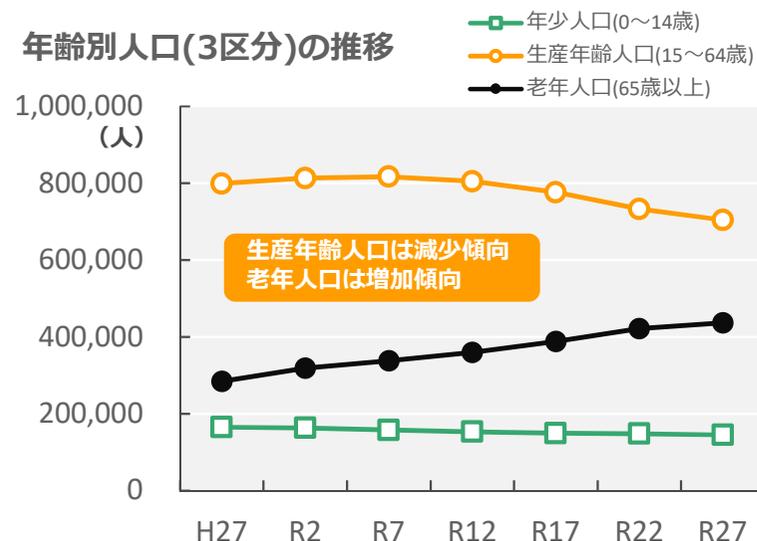
- ・さいたま市は、令和12年頃まで人口増加が続くが、それ以降は減少に転じる見込み。
- ・人口減少に転じる令和12年までが非常に大切な期間。

この間に積極的な投資を行うことで、  
持続可能な成長・発展につなげていく

市内総人口の推移



年齢別人口(3区分)の推移



出典：さいたま市人口ビジョン（本市独自推計・平成30年9月作成）

## 第2章

---



# さいたま市の財政



# 財政の現状～平成30年度決算

- ・ 実質収支は、**さいたま市誕生以来、連続して黒字を達成！**
- ・ 普通建設事業費の伸びに伴い、**市債額(普通建設事業債)が増加。**

## 決算収支の状況（一般会計）

単位：百万円

	H30	H29	増減	増減率
歳入決算額 (a)	542,051	531,124	10,927	2.1%
歳出決算額 (b)	535,598	522,806	12,792	2.4%
形式収支 (c=a-b)	6,453	8,318	△ 1,865	△22.4%
翌年度へ繰り越すべき財源 (d)	4,976	4,542	434	9.6%
<b>実質収支 (e=c-d)</b>	<b>1,478</b>	3,776	△ 2,298	△60.9%

※金額については、百万円単位のため差引額等が合わない場合があります。

## 歳入・歳出決算状況（一般会計）

<歳入>

単位：百万円

	H30	H29	増減	増減率
市税	265,178	233,981	31,197	13.3%
諸収入	29,877	30,183	△ 306	△1.0%
繰越金	8,318	9,681	△ 1,363	△14.1%
使用料及び手数料	8,278	8,358	△ 80	△1.0%
国庫支出金	90,365	86,540	3,825	4.4%
<b>市債</b>	<b>59,052</b>	<b>60,941</b>	<b>△ 1,889</b>	<b>△3.1%</b>
<b>普通建設事業債</b>	<b>48,430</b>	<b>47,082</b>	<b>1,348</b>	<b>2.9%</b>
臨時財政対策債	10,622	13,859	△ 3,237	△23.4%
県支出金	21,144	20,458	687	3.4%
地方消費税交付金	22,851	20,344	2,508	12.3%
地方交付税	6,412	7,560	△ 1,147	△15.2%
その他	30,576	53,078	△ 22,504	△42.4%
<b>歳入合計</b>	<b>542,051</b>	<b>531,124</b>	<b>10,927</b>	<b>2.1%</b>

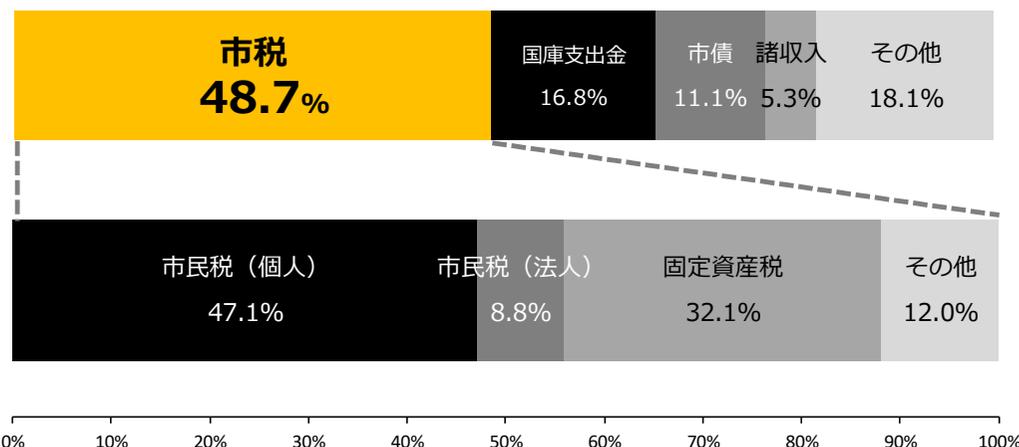
<歳出>

人件費	122,887	121,409	1,478	1.2%
扶助費	125,268	122,088	3,180	2.6%
公債費	50,837	49,969	867	1.7%
<b>普通建設事業費</b>	<b>78,701</b>	<b>78,304</b>	<b>397</b>	<b>0.5%</b>
その他	157,905	151,036	6,869	4.5%
<b>歳出合計</b>	<b>535,598</b>	<b>522,806</b>	<b>12,792</b>	<b>2.4%</b>

# 市税収入の状況 (平成30年度普通会計)



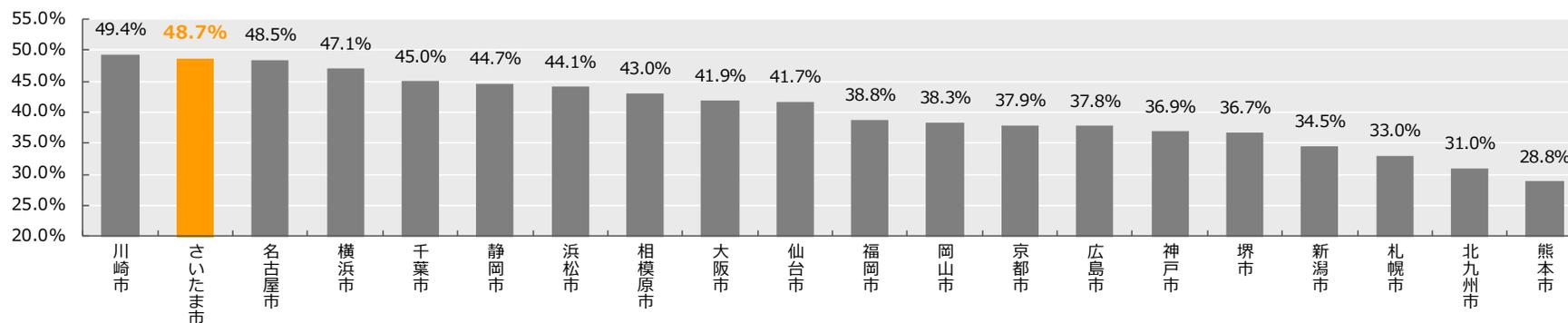
## 歳入に占める市税の割合



- ・ 歳入のうち5割が「市税」
- ・ 他市と比較しても、歳入に占める市税の割合が高い！

安定的な税収基盤が確保できている

## 他指定都市との比較

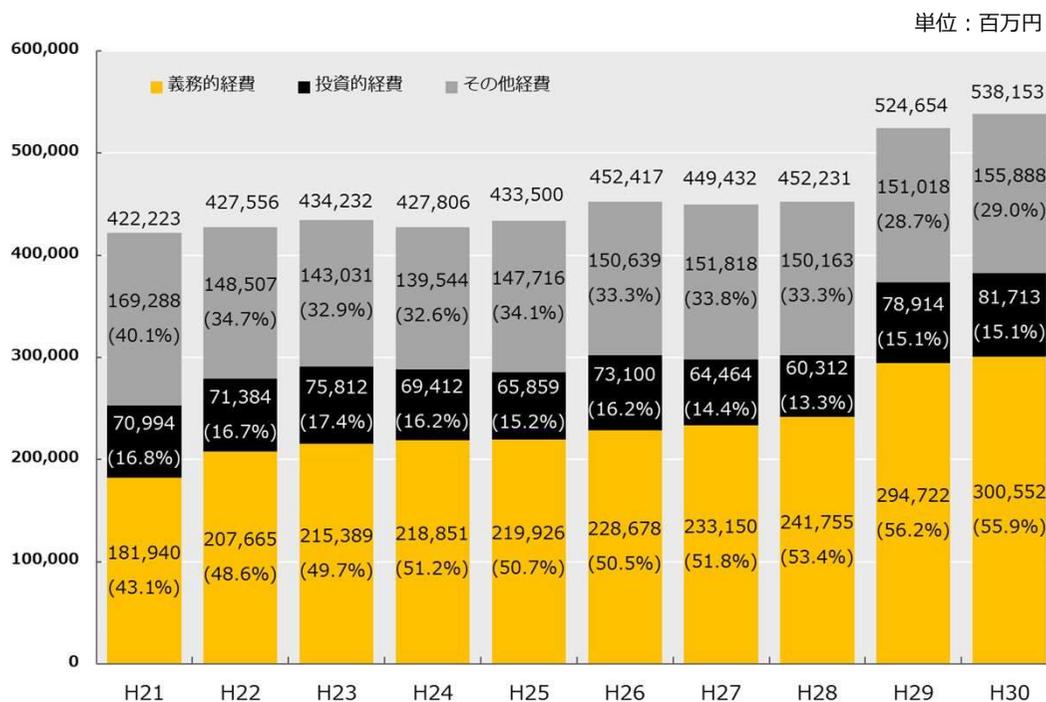


# 義務的経費の状況① (平成30年度普通会計)



- ・ **義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の支出が年々増加！**
- ・ **特に「扶助費」は、子育て世代の転入に伴う保育需要の高まり等により大きく増えており、今後も増加が見込まれる。**

## 性質別歳出の推移



※グラフの( )内は構成比  
 ※項目ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と合計額は一致しない場合がある

## 義務的経費の内訳

区分	H21	H22	H23
人件費	75,375	75,258	73,206
扶助費	64,136	88,536	95,889
公債費	42,430	43,871	46,294
合計	181,940	207,665	215,389

区分	H24	H25	H26
人件費	73,045	70,674	72,939
扶助費	98,196	99,747	106,395
公債費	47,609	49,504	49,344
合計	218,851	219,926	228,678

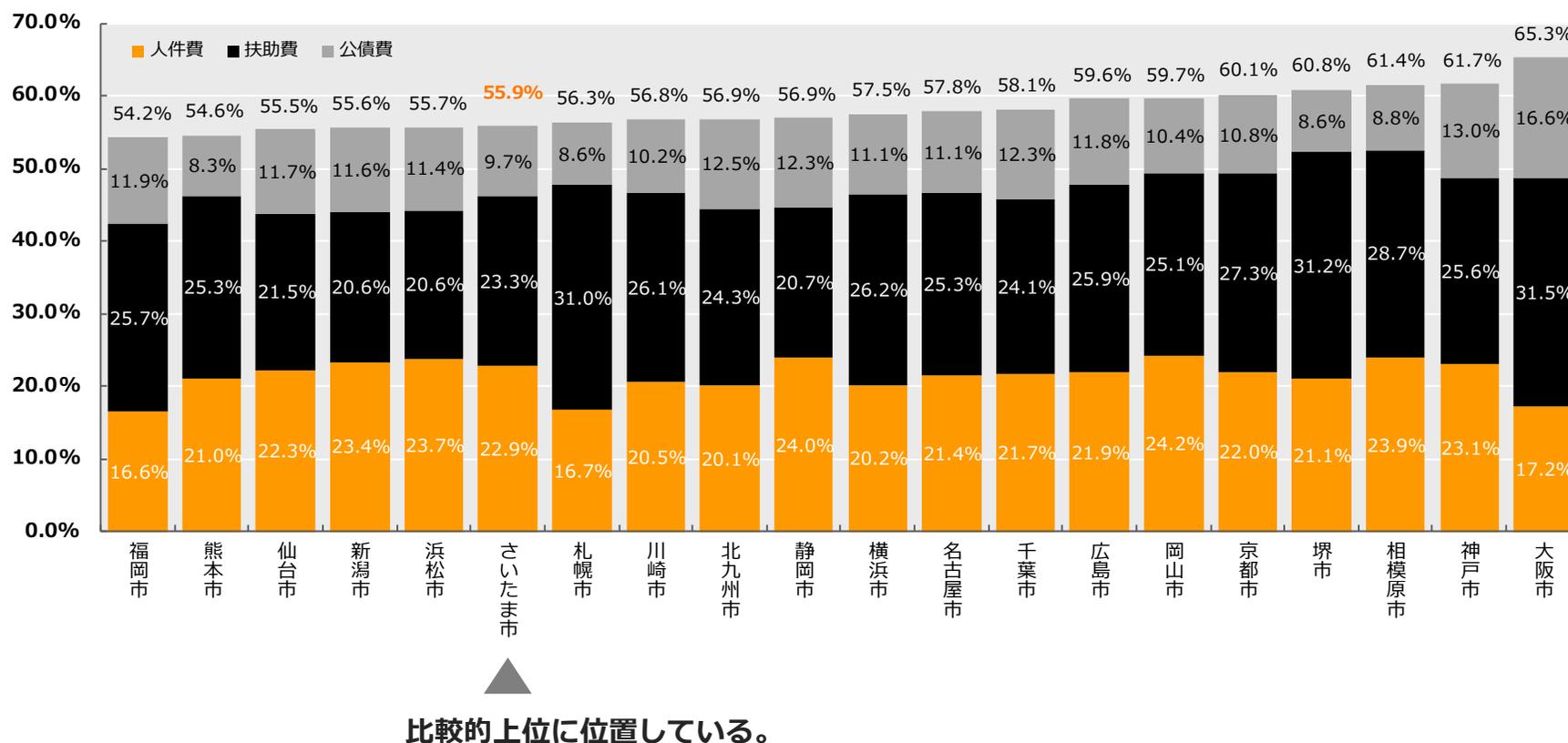
区分	H27	H28	H29	H30
人件費	75,080	74,194	121,318	<b>123,021</b>
扶助費	111,259	117,640	122,088	<b>125,268</b>
公債費	46,811	49,922	51,316	<b>52,263</b>
合計	233,150	241,755	294,722	<b>300,552</b>

- ・ **扶助費が著しく増加。**
- ・ **人件費は、県費負担教職員の給与負担事務の権限移譲に伴い、平成29年度から増加。**

# 義務的経費の状況② (平成30年度普通会計)



- ・ 歳出総額に占める義務的経費の割合は、**指定都市中6番目に少ない!**  
 ※ さいたま市は55.9%で、指定都市の平均は58.0%。



# 財政指標の状況



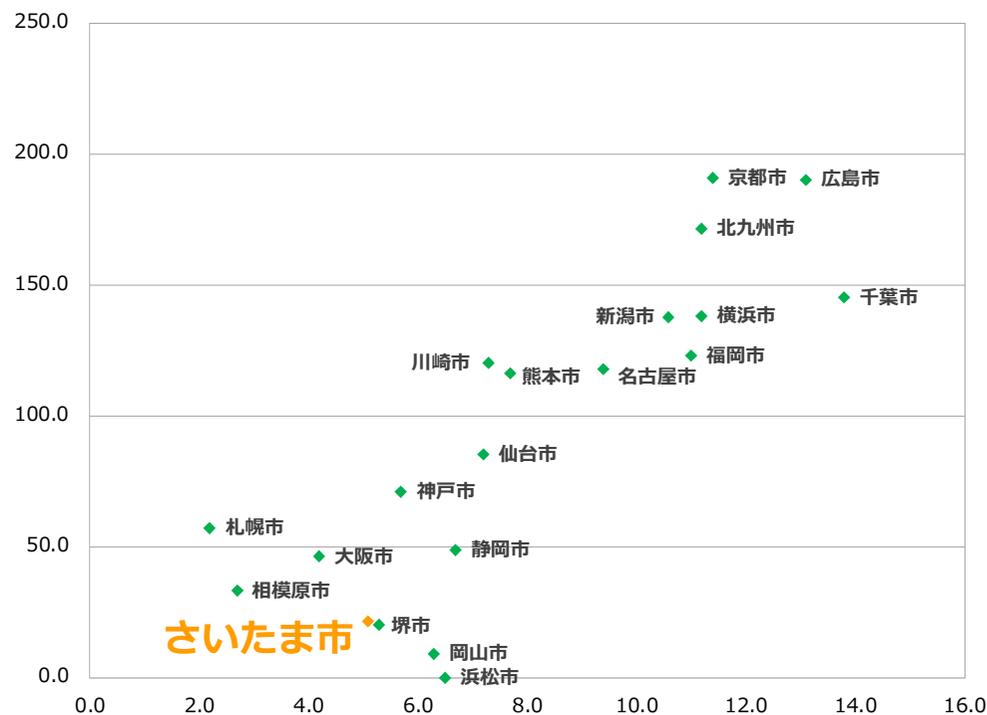
- ・ いずれの指標も国が定める「早期健全化基準」を大きく下回っており、**財政の健全性を保っている！**
- ・ 実質公債費比率、将来負担比率ともに、**低い水準を維持！**

## 健全化判断比率

	H28	H29	H30	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	-	11.25%
連結実質赤字比率	-	-	-	16.25%
実質公債費比率	5.0%	5.1%	<b>5.1%</b>	<b>25.0%</b>
将来負担比率	5.4%	15.3%	<b>21.2%</b>	<b>400.0%</b>
資金不足比率 (10企業会計)	-	-	-	20.0%

## 実質公債費比率・将来負担比率の比較

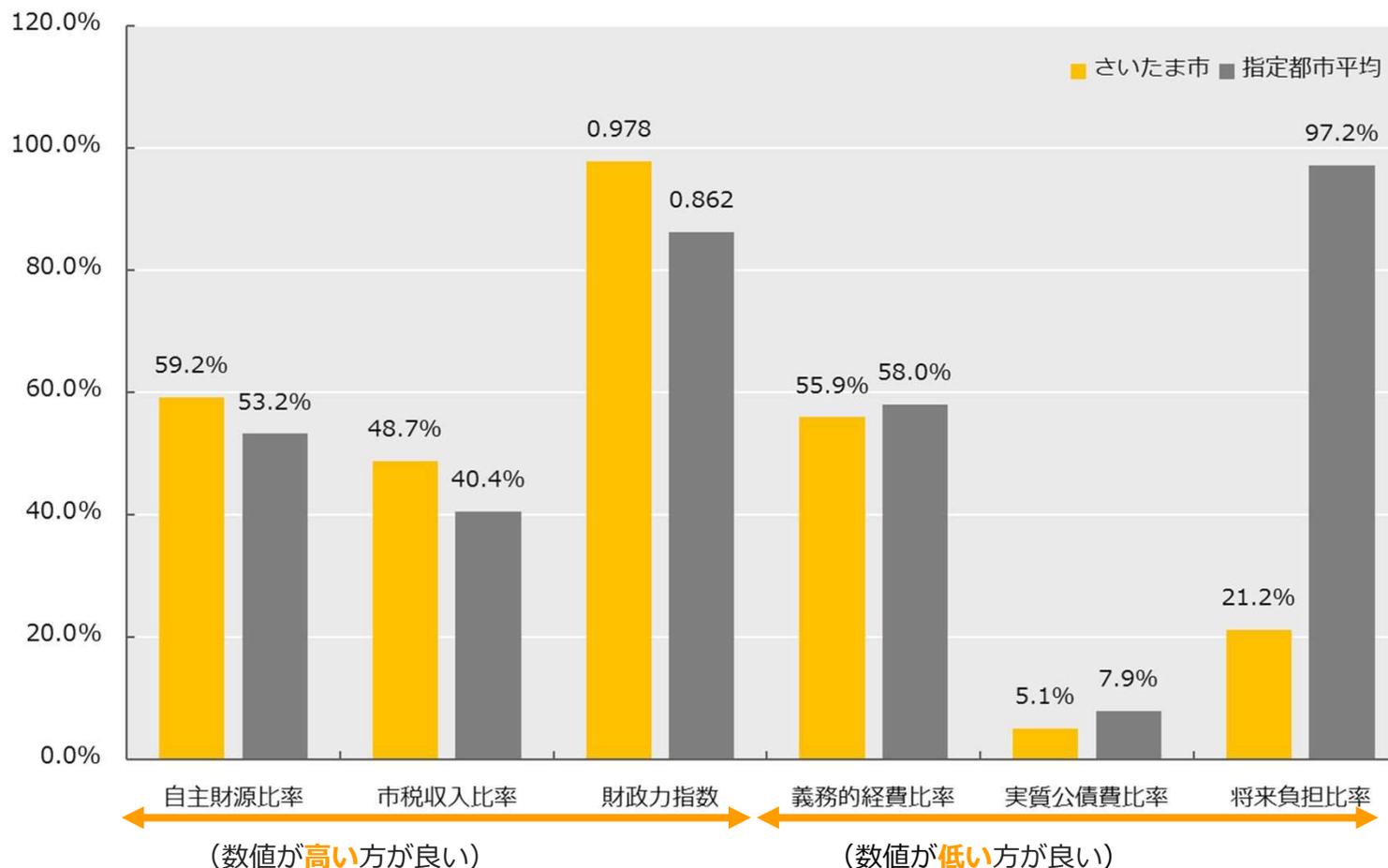
単位：%



# 財政指標の比較 (平成30年度普通会計)



・ **いずれの指標も、他指定都市より比較的上位に位置している！**



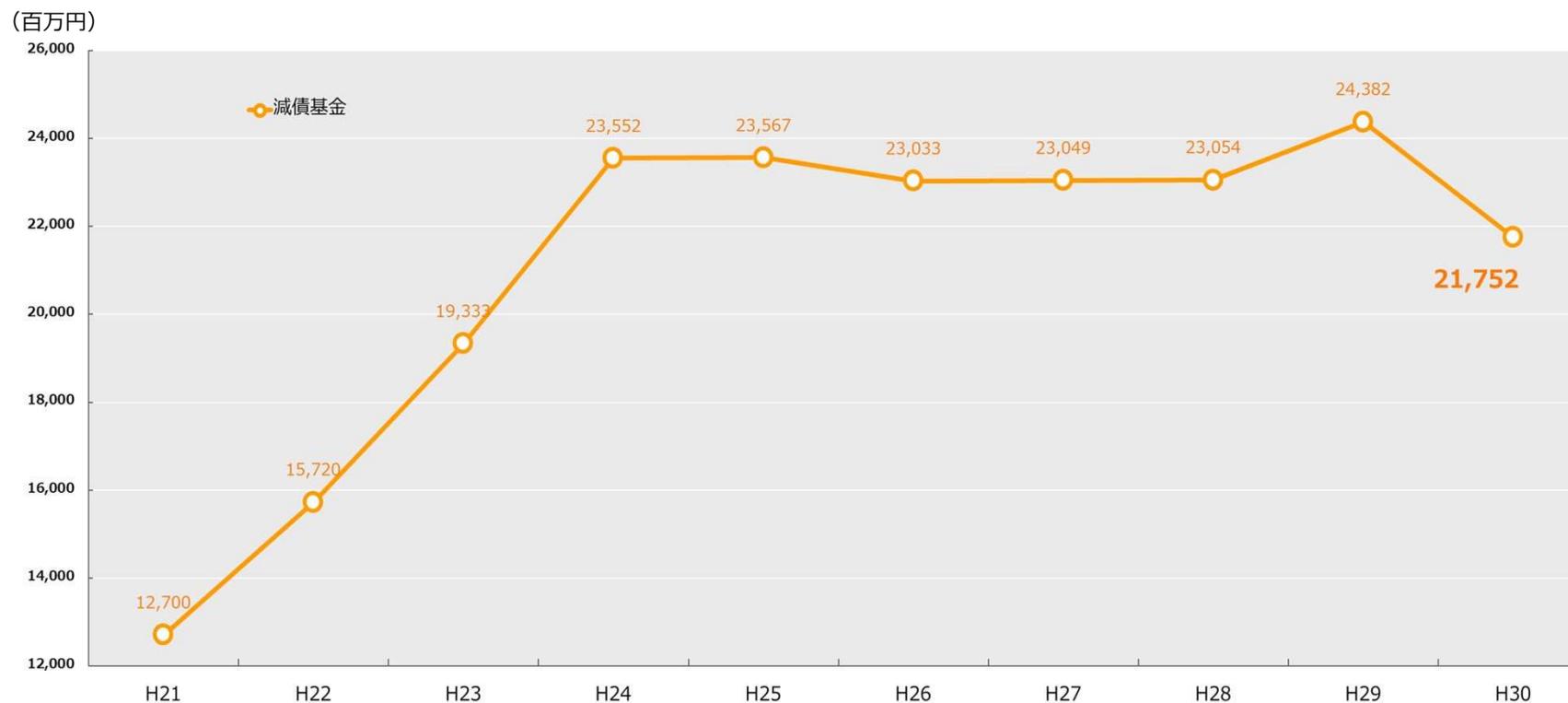
さいたま市  
順位

# 基金残高の推移



- ・ 将来の市債償還に支障のないよう、**着実な積立て**を実施し、  
期日どおりの償還確実性を担保。

## 減債基金の残高推移





# 「新たなさいたま市の創造」に向けた「充実予算」

- ・ **総予算額(一般会計、特別会計、企業会計の計)は1兆66億円となり、さいたま市誕生以来、最大の予算規模。**

## 本市の予算規模

	R1予算額	対H30増減	増減率
一般会計	5,568億円	23億円	0.4%
特別会計	3,118億円	31億円	1.0%
企業会計	1,380億円	74億円	5.7%
<b>合計</b>	<b>1兆66億円</b>	<b>128億円</b>	<b>1.3%</b>

### 重点配分している予算事業

- 東日本の中枢都市としての地位を確立するため、東日本連携の取組を加速化させ、東日本の対流拠点にふさわしい**都市機能の充実**を図る予算
- 東京2020大会を契機にスポーツに対する関心や参加意欲が高まる中、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて健康増進につながる**スポーツ環境の充実**を図る予算
- 少子高齢化社会の急速な進行、地域コミュニティ力の低下に対応するため、子育てを応援し、**だれもが健やかに安心して暮らせる環境**や、きめ細かで質の高い**教育環境の充実**を図る予算

## 歳入・歳出予算(一般会計)

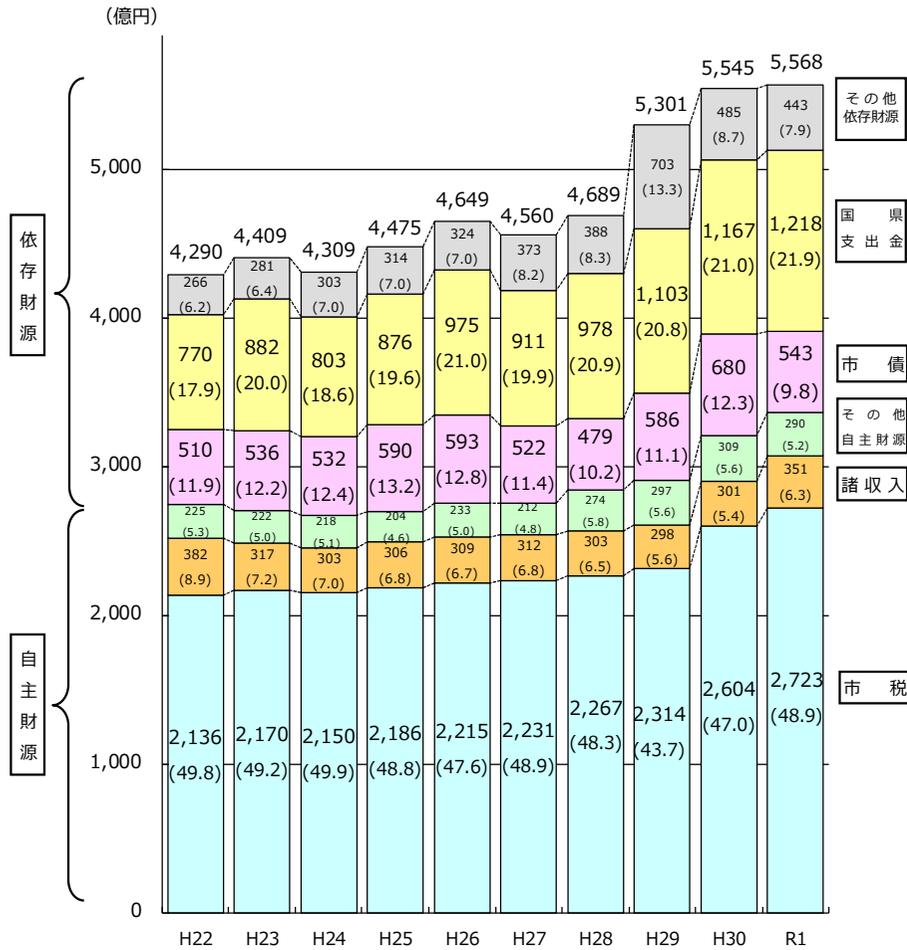
単位：百万円

	R1	H30	増減	増減率
<b>&lt;歳入&gt;</b>				
市税	272,260	260,388	11,872	4.6%
国庫支出金	96,867	94,900	1,967	2.1%
<b>市債</b>	<b>54,339</b>	<b>67,993</b>	<b>△ 13,654</b>	<b>△20.1%</b>
普通建設事業債	45,293	54,742	△ 9,449	△17.3%
臨時財政対策債	9,046	13,251	△ 4,205	△31.7%
諸収入	35,084	30,063	5,021	16.7%
県支出金	24,979	21,755	3,224	14.8%
地方消費税交付金	23,042	22,721	321	1.4%
使用料及び手数料	8,068	8,470	△ 402	△4.7%
地方交付税	4,983	6,218	△ 1,235	△19.9%
その他	37,208	41,942	△ 4,734	△11.3%
<b>歳入合計</b>	<b>556,830</b>	<b>554,450</b>	<b>2,380</b>	<b>0.4%</b>
<b>&lt;歳出&gt;</b>				
人件費	127,330	125,895	1,435	1.1%
扶助費	129,932	127,176	2,756	2.2%
公債費	53,362	51,355	2,007	3.9%
<b>普通建設事業費</b>	<b>76,036</b>	<b>90,217</b>	<b>△ 14,181</b>	<b>△15.7%</b>
その他	170,170	159,807	10,363	6.5%
<b>歳出合計</b>	<b>556,830</b>	<b>554,450</b>	<b>2,380</b>	<b>0.4%</b>

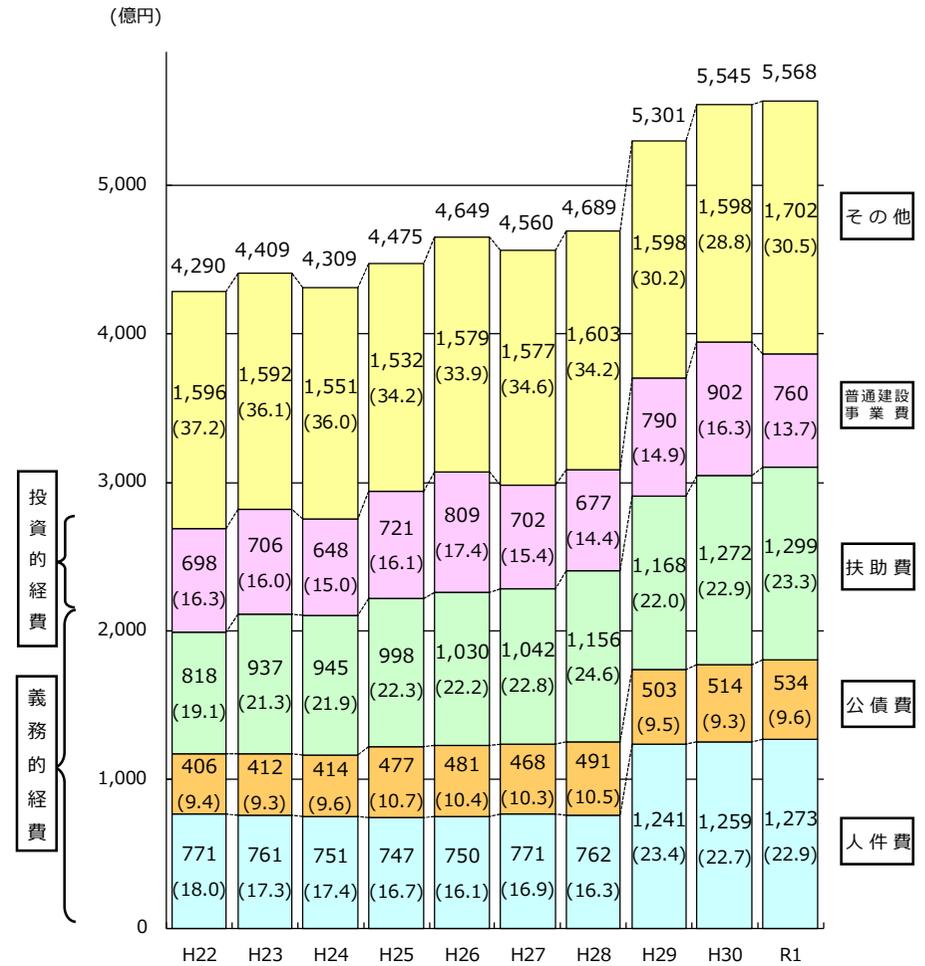
# 予算の構成比 (一般会計)



## 歳入



## 歳出 (性質別)



※グラフの( )内は構成比

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と合計額は一致しない場合がある

## 第3章

---



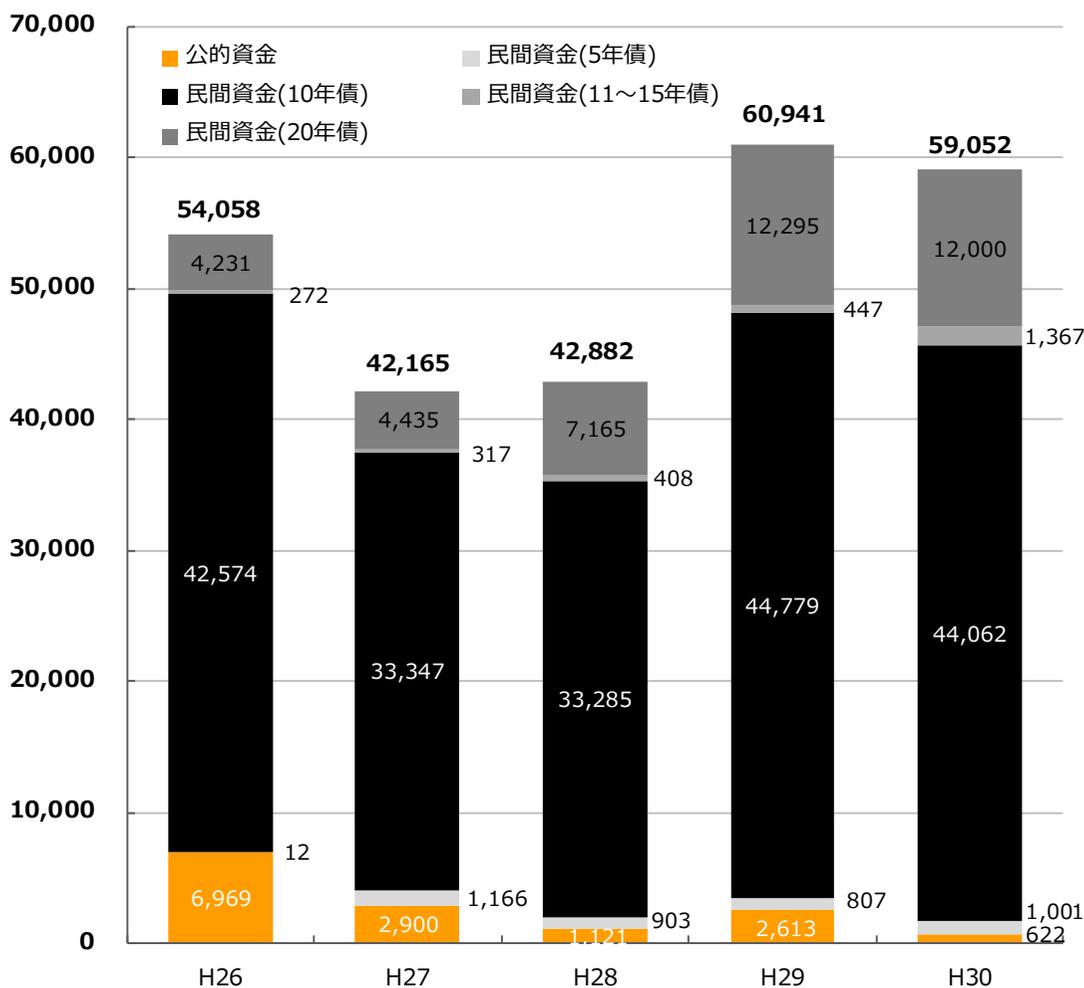
# さいたま市の起債運営

# 市債発行実績



## 発行額・資金調達先の推移（一般会計）

(百万円)



## 市債発行の状況

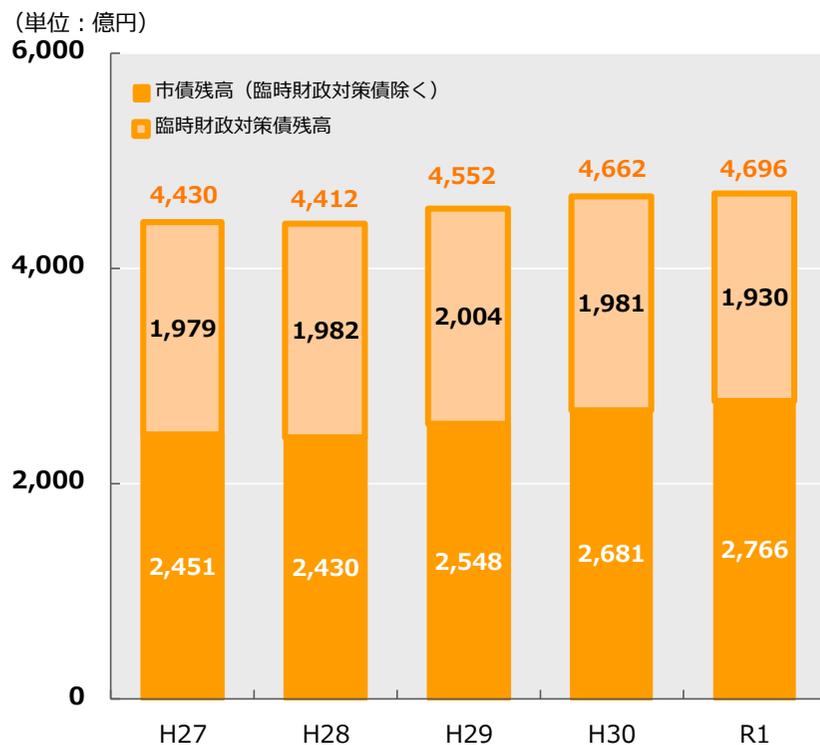
- 将来も成長・発展していくために積極的な投資を行っており、市債発行額は増加傾向。
- これまで10年債の発行を中心に行ってきたが、公債費負担の平準化を図るため、超長期債の発行額を増やしている。

# 市債残高の推移

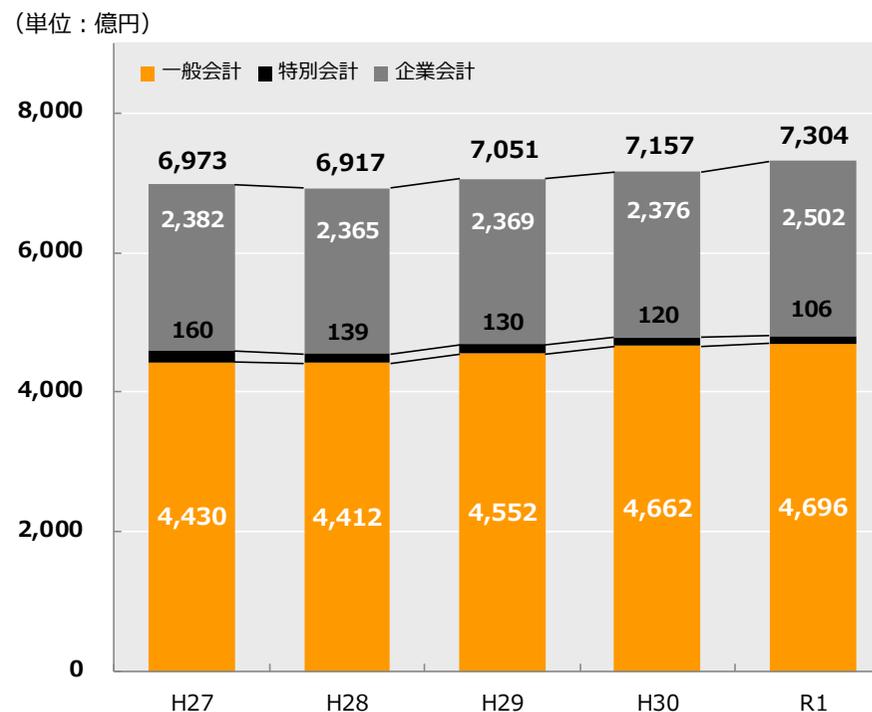


- ・ 普通建設事業費の伸びに伴い、市債残高(普通建設事業債)も増加傾向

一般会計の市債残高推移



全会計の市債残高推移

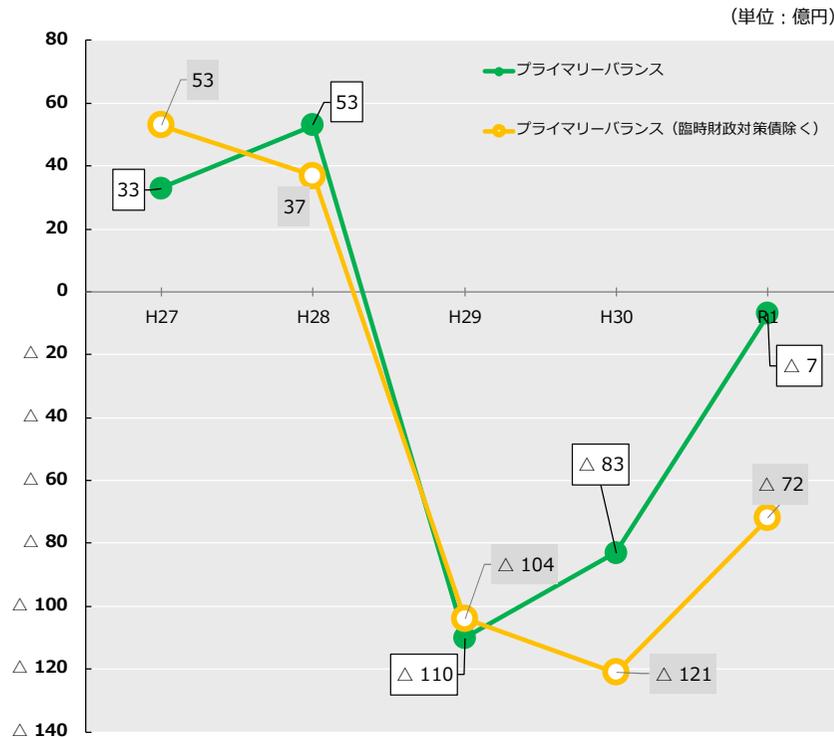


- 注1) 借換分を除く。
- 注2) 令和元年度は年度末現在高見込額。
- 注3) 各会計ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

# プライマリーバランスと残高比較



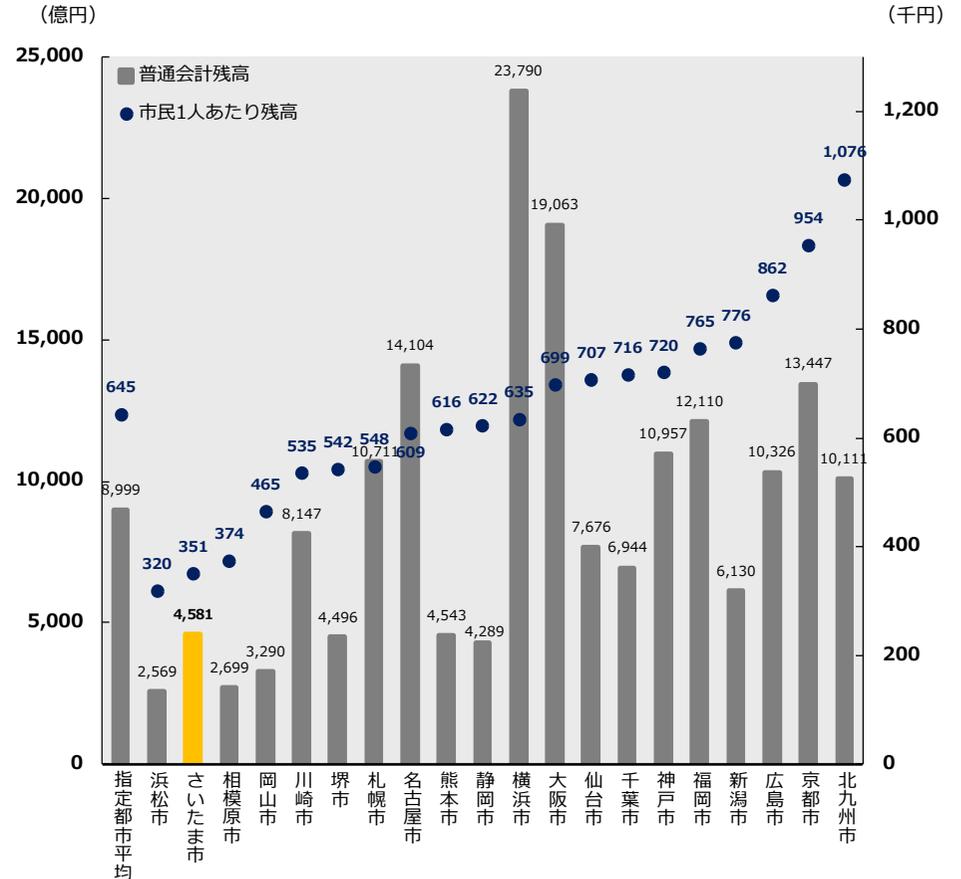
## プライマリーバランスの推移



注) 令和元年度は令和元年9月時点

- 投資が増えている状況にあるため、平成30年度決算はマイナス

## 市民1人あたりの市債残高



- 指定都市の中では、市民1人あたりの市債残高が2番目に少ない

# 市場公募地方債



- ・ **さいたま市誕生以来、10年満期一括償還方式で100億円を年1回発行。**

## 過去5年間の発行実績

	H26	H27	H28	H29	H30
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
発行日	H26.12.25	H27.12.25	H28.12.22	H29.12.25	H30.12.25
償還日	R6.12.25	R7.12.25	R8.12.22	R9.12.24	R10.12.25
表面利率	0.456%	0.464%	0.165%	0.210%	0.195%

## 令和元年度さいたま市シンジケート団シェア

### <銀行団>

名 称	シェア (%)	備考
埼玉りそな銀行	20%	代表受託兼幹事
みずほ銀行	12%	副受託兼幹事
武蔵野銀行	5%	
新生銀行	1%	
埼玉縣信用金庫	1%	
さいたま農業協同組合	1%	
<b>小計</b>	<b>40%</b>	

### <証券団>

名 称	シェア (%)	備考
みずほ証券	11%	幹事
大和証券	10%	
SMBC日興証券	10%	
野村證券	7%	
しんきん証券	6%	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5%	
東海東京証券	5%	
SBI証券	4%	
岡三証券	2%	
<b>小計</b>	<b>60%</b>	



# さいたま市

みんなが、のびのび、暮らせるまち。  
未来に向かって、伸びて伸びて、いくまち。  
豊かな自然、安心して住める環境とともに、発展、進化していく、  
さいたま市の姿が<のびのび>のひと言に込められています。

## 連絡先

さいたま市財政局財政部財政課 財源係

住所 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

電話 048-829-1155

FAX 048-829-1974

E-mail [zaisei@city.saitama.lg.jp](mailto:zaisei@city.saitama.lg.jp)